

* 下線付き文字をクリックするとリンク先に飛びます

今年は、長雨のせいか？天然遡上が良かったにも関わらず、どの川も調子が出ない。阿仁川も解禁当初こそ、連日の大釣りで盛り上がっていたようですが、ここにきてパツとしないようです。前週に行っていたSさん情報だと、15尾で竿頭？とのこと。厳しいとは思いましたが、去年の良い思い出が忘れられず、阿仁川釣行を敢行することに。当初予定では、三連休の前後に夏休みをとって、現地でSさんと合流するつもりでしたが、週間予報だと三連休は雨の予報。ということで、木金と夏休みをとって前倒しで行くことに。さらに、一人旅のつもりでしたが、直前にEさんから連絡があり一緒に行けるとのこと。水曜日の夕方休みをとり、16時にいわきを出発。途中、相馬のEさんを拾って片道430km、距離はそれほどでもないけど、ほぼ一般道を走るの片道10時間になります。今回は話し相手が居たこともあり川囀りに進み、道の駅「[あに マタギの里](#)」には1時半に到着。ここで仮眠をとって朝一から釣りをやる筈でしたが、3時ごろ、内側からリモコンキーでカギを閉めたのを忘れ、ドアのカギを開けた瞬間、警報が鳴り響くというアクシデント。街中ならまだ「馬鹿なやつがいるな」程度ですむけど、マタギの里です。さぞかし、周囲の民家は驚いたでしょう（すみません）。解除にはエンジンをかける必要があるのですが、椅子を前に出していたので、中々スイッチに手が届かず焦る焦る・・・

そんなこともあり、睡眠不足のまま、朝には菊地オトリ店に到着。情報通り中流域が良いとのこと。状況をつかむためにも、昨年、二日間竿を出した[白岩](#)に向かうことに。

<8月6日>

木曜日ということもあり、本命の瀬には誰も居ません。私が上流側、Eさんが下流から釣り開始。オトリを付けて流れに入れ、ふとEさんを見ると既に竿が曲がっているではないですか！？いきなりの良型です。すると、こちらにも直ぐに野アユが掛かる。すかさず3連ちゃんて3倍返し！！昨年ほど魚は居ないけど、広く探っていくとポツリポツリ拾える感じ。10時までに10尾をクリア。ここで、上流も見てみることにする。100mほど上った瀬落ちからスタート。昨年は、岩盤の溝の中でポツリポツリ拾えたけど、やはり今年は単発でしか来ない感じ。しかも濁水だった去年より水位が高いので、ポイント移動も大変。結局、この場所ではペースにみならず、昼までに合計20尾ほど。前評判が今一ただけに、思ったよりも良い印象で午前の部終了。魚をベースキャンプに移す必要があるの、昼に駅前の[公園](#)に戻り作戦会議。当初の目論見では、ギブアップしたEさんをベースキャンプの河川敷居酒屋に休ませて・・・と思っていたのだけど、意外に元気で上流も見てみたいとのこと。ということで、去年の9月に来た時に、かなりの迫力があつた[大岱](#)が気になっていたの、車で見に行ってみることに。しかし、このエリアは人が多数入っていて、さらに上流も見ただけ、所要所に人が居て、あまりやる気が起きない。上流部は翌日やることにして公園前に戻ることに。

公園前は真ん中がやや浅くなっていて、その先の左岸側が太い流れ、そして瀬落ちは広いプールになっています。最初から下流の[小学校裏](#)の瀬に



いわき→相馬→仙台→東根→角館→阿仁前田のルートです。



道の駅 あにマタギの里。静かな山里に車の警報が・・・



開始3秒で掛けたEさん。初日は絶好調で20尾ほどゲット

行っても良かったけど、まずは、目の前で良いオトリを取ろうと左岸側の流れを攻めてみる。今回は競技Tの最強バージョン、スイッチシステムの一番堅い組み合わせを試すことに。さらに、仕掛けは複合メタル005号に付け糸なしの直結仕掛けです。これならどんな瀬でもバチバチ抜けるはず・・・さすがに堅く、2号くらいのオモリは楽勝。SMTのためか、感度も少し上がった感じがします。

去年は瀬肩や真ん中の浅い瀬でも釣れたのだけど、この日は攻められた後なのか？普通のポイントでは掛からない。そこで、一番キツイ瀬落ち手前の流れにオトリをねじ込むと目の覚めるような当たりが連発！しかし、瀬の中で強引にやりとりすると、ほとんどがバシレしてしまう。不本意ながら？瀬落ちまで下って数尾キャッチし終了。そして、今回本命の300mほど下流の小学校裏の瀬に行ってみる。ここは、大石が入っている荒々しい瀬で、去年は一番の良型が釣れ、それをオトリにしたら尺ヤマメが掛かって仕掛けを切られたポイント。ここを攻略するのが目的で、今回は直結の仕掛けを持ってきているのだが・・・瀬肩から順に下っていくものの、あきらかに魚が薄い。20mに1尾のペース。左岸から差したのだけど石は大きくて滑るし、流れはあるしで途中棄権。左岸は河原になっているので、そっちの方が良かったかもしれない。早々に諦めて公園前までの深ト口を遡る。これが結構ハードで、夜通しの運転の疲れもあり、初日はこれでギブアップ。Eさんと早い宴会を始め、7時半には力尽きて爆睡となりました。

<8月7日>

翌朝は、早朝からの雨、この日は後発のSさんが合流する予定なので、5時頃連絡すると大仙市とのこと。前日、よく釣れたという怪情報？を何度も送っていたためか、予想よりも早い到着です。気になるのは雨。時間毎の予報だと、午前中には上がる予定。後は降り方次第で増水するかどうか？時折強い雨が降ってくるので、タープから車に避難して待っていると、7時半にSさんが到着。まだ、雨は止みそうにないので、Sさんも一緒にしばし雨宿りし、弱くなった9時過ぎに遅いスタートです。まずは、下流を見に行ってみる。[採石場前](#)を現地詳しいSさんに案内してもらおうと、かなりの水量で、とても入る気にはおれない。そこで、昨日人が多くて入れなかった大岱に向かう。こちらは今のところ平水に近い感じで人も居ない。早速、準備して橋下の平瀬にEさんとSさん。私はどうしても瀬がやりたいので、やや下流の瀬肩から開始。釣りを始めると思いのほか葉っぱなどのゴミが流れてくる。瀬を一通り探るも反応はない。オトリが結構やばくなったところで、瀬落ちに落とすと交通事故的に良型が掛かる。これで、入れ掛かりになるかと思っただけど、その後は全く反応なく、気がつけばゴミの量も増え、濁りも入ってきた感じ。ここで、状況を見る意味もあり、上流に上っていくと、橋の下で平瀬でSさんが掛けるのが見えた。もしかしたら釣れているのか？と話しかけると、これが最初の1尾とのこと。1時間やってこの程度の反応では・・・Eさんも戻ってきてギブアップ気味なので、昨日やった白岩を見に行くことに。前日にやった瀬に行くと、先行者は一人のみ。水量は昨日に比べるとちょっと多い感じ。早めの昼を



白岩の風景。岩盤の中に石が入っています。岩盤は滑るので注意です



阿仁前田駅の温泉。公園から歩いて3分。本当に便利です。



この時期、例年なら満車状態の公園駐車場。今年は閑散としています。

食べていければ昼の空いた時間に釣りができだろう？とのんびり昼食を済ませ、いざ釣り開始！と思って河原に降りると、さっきと景色が違う！昼を食べている間に20cmほど増水してしまった。淡い期待を抱いて少し上流のトコ場を見に行ってみるが、やはり時間の経過とともに濁りがきつくなってしまった。さすがに諦めるしかなく、公園に戻って早めの宴会を始めることに・・・

公園前では、ツツモノが一入川の中央に入って左岸側を攻めている。かなり難儀して釣っている感じ。どうせ、釣れないだろうと、椅子に座って眺めていると、釣れるのが見えてしまった。釣れるとわかって、昼から宴会をするわけにはいかない。SさんとEさんを残して釣りを始めることにする。

さすがに、流心に入る気はしないので、右岸の瀬尻からオトリを入れ、ゆっくりと引き上げていくと、明確な当たりで17cmクラスが掛かった。同じように、1号玉で止め泳がせ気味に引いていくとポツポツ釣れる。入れ掛かりにはならないが、できないと思っていたので、ある意味ラッキーな感じ。これを見ていたSさんとEさんも参戦し、Sさんは瀬尻のやや下で何尾かキャッチ。夕方までの1時間程度だけど5、6尾釣ることができた。

2日目も早めに切り上げ、温泉&宴会開始。Sさんも合流したので、馬鹿話に花が咲いて、あっという間に就寝時間。皆さん、お年のせいかな？早寝早起きです。

<8月8日>

当初は、大雨の予報でしたが、後ろにずれ込んで、日中は曇り予報。大雨は夜からの予報に変わりました。当然、釣りができるのに帰る訳にはいきません。もう一日延長しておまけの1日を楽しむことに。

朝は、小雨模様で嫌な感じでしたが、白岩に到着してカッパを着込んで釣り開始。すると、またしても下流のEさんが掛ける。こちらも入れ掛かり！と言いたいところだけど、初日より魚の反応が悪い。天気の良いのか？魚が薄いのか？数尾釣ったところで、堪らず対岸の浅い岩盤を攻めることに。しかし、ここも反応が悪い上に根掛かりでポイントを潰してしまった。Eさんは瀬尻までやったところで下流の開きへ移動。ということで、Eさんがやったポイントを対岸から攻めることに。これが良かったのかポンポンと入れ掛かり。そして、瀬尻まで行ったところで、左岸の鏡が気になってオトリを入れた途端入れ掛かり突入。こうなると自分にもスイッチON!この周囲を釣りきって午前の部は18尾まで伸ばすことができました。Eさん、Sさんとも渋いようなので、昼で公園前に引き返すことに。この時間になるといつの間にか晴れ間ものぞき、カッパを着たままだだったのでかなりの暑さになってしまった。

昼食を挟んで午後は初日に玉砕した左岸側の流心を攻めることに。ただ、前日の増水が引いていないので、手前の浅瀬（といってもかなりの流れ）からしか攻められない。まずは瀬尻からオトリを送り込んでいくと、流心近くで強烈な当たり。何とか取り込んで、取り込んだ位置からオトリを入



二日目は増水で高みの見物



公園駐近くのスーパー。少しは地元経済に貢献しなくちゃ。



最終日は焼肉スタミナ回復

れるとまたしても強烈な当たり。4本ほど取ったところで、上流に移動して刺し直すと、要所要所で掛かってくるけど、流心の向こう側で掛けると一気に下流に走られてしまう。下流のト口まで下れば取れるけど、そのたびに50mの流れを上るのはしんどいので、その場で勝負するとほとんどが身切れしてしまう。途中からは、滅多に使わないチラシに替えてみたけど、どうしても身切れが起きる。結局掛けた内の半分しか取れず、根掛かりで2、3尾ロストし、残ったのは10尾ほど。今日もこの瀬で玉砕でした。周囲ではほとんど釣れていないので、ギャラリーの注目的だったかも？恥ずかしい限りです。Eさんには引き抜き下手だね（阿波踊りみたい）と笑われました。次回は、振り子抜きでバシバシ抜いてみせるぞ！！と。また、阿仁川に行く理由が出来てしまいました。

今年の阿仁川ですが、前評判では冷水病が出て釣れないとのことでした。やってみて、確かに冷水病の痕跡はありましたが、ほぼ直りかけの状態。おそらく生き残った魚が元気になったのと思われます。当たりも強烈だし、引きも半端ない感じ。ただ、昨年もそうだったけど、全体の数が多い少ないの違いはあるものの、正攻法でいくとあまり釣れない印象です。人がやらない鏡だったり、瀬の入れにくい場所だったりが良い感じ。釣れる魚の大きさもまるで違います。最後にアユをクーラーボックスに移すときに、釣った覚えのない大きさ（15cmくらい）が結構入っていて、誰が釣ったの？と聞いてしまったほどです。ぜひ、一番の瀬にぶち込んで玉砕してください！！病みつきになりますよ♪

タックル	
竿	FW90、競技T90
水中糸	ランプレミアム005号
下付け糸	フロロ0.4号
ハリス	1.0号
針	マルチ6.5号4本針

*直結はランプレミアム005号
上下フロロ0.8号



阿仁川らしい体高のある鮎が楽しませてくれました



今回の釣果の半分。残りは脱走されました(笑)

リンク

[おとり SHOP KIKUCHI \(阿仁川\)](#)

[阿仁川の水位](#)